

## 日常生活の中でのアイデアから新製品を開発した企業

東京都千代田区の株式会社ナビット(従業員30名、資本金1億6,850万円)は、ビジネスとは無縁の2児の母親のアイデアから誕生した企業である。東京都内の地下鉄で、どの駅ではどの車両に乗っておくのが一番便利であるかを分かりやすく示した「のりかえ便利マップ」や、バリアフリーマップを開発したのに加え、スーパーの特売の情報を集めた、webと携帯電話向けサービス「毎日特売」の運営等を手がけている。

同社社長の福井泰代氏が起業するきっかけとなった「のりかえ便利マップ」は、子育ての中でのひらめきから生まれたものである。1995年の夏のある日、福井氏はベビーカーを押しながら、西日暮里駅のホームでエレベーター、エスカレーターを探して右往左往していた。荷物とベビーカーを持って階段を登り降りするのは重労働であり、また、足下が見えないため、大変危険に感じていた。そのとき、ホーム上で、「のりかえ便利マップ」のアイデアをひらめいた。

そして、福井氏は都内の地下鉄256駅(当時)の全ての調査に乗り出した。駅の中のエスカレーター、エレベーター、トイレ、公衆電話などの位置や、別路線への乗り換えに便利な車両を丹念にメモしていき、「のりかえ便利マップ」の原形を作った。それをもとに、出版社50社以上に対して、粘り強く営業活動を行った結果、アルバイト情報誌への「のりかえ便利マップ」の掲載を実現した。

1997年に会社を設立した後、「のりかえ便利マップ」は東京都内の地下鉄で採用され、一躍注目を浴びた。同社の事業は順調に拡大し、2006年には、新たな事業として、新聞の折り込み広告にあるスーパーの特売の情報を、webと携帯電話から見ることが出来るサービス「毎日特売」を始めた。これも、福井社長自身が、仕事と家事を両立する生活の中で、「仕事帰りの電車の中で、近所のスーパーの特売の情報をチェックできれば、帰り道での夕食の買い出しが効率的になる。」とひらめいたことがきっかけで、立ち上げたものだという。同社は、福井社長の湧き出るアイデアを武器に、IT企業として更なる発展を目指している。



「のりかえ便利マップ」